**9月号の主な内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 3 | 大崎地域を世界農業遺産へ Vol.15  市長コラム 天地人 |
| 4 | 家族と、友人と、地域と  もう一度考えたい救急医療のこと |
| 6 | 大崎市誕生10周年記念  NHKのど自慢と大相撲大崎場所を開催 |
| 8 | ひと・ヒト・人で大盛況！  おおさきの夏まつり |
| 9 | 第62回全国こけしまつり  第53回政宗公まつり |
| 10 | 市政トピックス　8月の主な出来事 |
| 11 | 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち |
| 12 | オオサキプレイガイド |
| 14 | 図書館等複合施設愛称募集　ほか |
| 16 | 今月のお知らせ |
| 26 | 子育て支援情報 |
| 27 | 育児相談・乳幼児健診 |
| 28 | 休日当番医　ほか |

**今月の表紙**

8月18日、大崎市誕生10周年記念事業として、「平成28年夏巡業・大相撲大崎場所」が、古川総合体育館で開催されました。

　東日本大震災直後の平成23年6月から、「おおさき宝大使」をつとめていただく、第69代横綱白鵬関も、全国巡業が続く忙しい中、元気な姿を見せてくれました。

　とを従えた白鵬関の「横綱土俵入り」では、を踏むたび、会場から「よいしょ!」と大きな掛け声があがり、一点を見つめ、大きく両手を広げてせりあがる、の見事な土俵入りに、大きな歓声と拍手が送られました。

　横綱の土俵入りには、大地を鎮め邪気を払う意味があるといわれています。震災復興への激励と大崎市誕生10周年の祝意が込められたすばらしい土俵入りでした。

**パタ崎さんの観光ひとくちメモ**

**その3　まずは手を振ってみよう！**

問合せ 観光交流課 電話23-7097

初めて行く旅行先って、ワクワクと同時にドキドキしたり、不安だったりするよね。そんなとき、気さくに話しかけてもらったり、親切にしてもらったりすると、「いいところだったな」「また行ってみたいな」って、強く印象に残るでしょ。

　美しい風景を見たり、おいしい食べものに舌鼓を打つのは旅の醍醐味だけど、そこに、地元のあたたかいおもてなしや、人との交流が加われば、より一層、魅力あふれるものになると思うんだ。

　観光を盛り立てていくのは、観光に携わる人たちと、そこに住む市民みんなのおもてなしの気持ちなんじゃないかな。

　ここでぼくからの提案！列車や観光バスにみんなで手を振ってみようよ。地域や学校単位でやったら楽しく取り組めるかもしれないよ。

　大崎市に行くと、みんなから手を振られるって、ＳＮＳで評判になるかも！

**大崎地域を世界農業遺産へ　vol.15**

**里地・里山の保全と大崎耕土の恵み⑪**

**水田農業が支えるマガンの飛ぶ風景**

【問い合せ先】産業政策課世界農業遺産推進室　電話23-2281

sangyo@city.osaki.miyagi.jp

マガンは毎年9月下旬になると遠くロシアから4,000キロメートルの旅をして大崎市に飛来します。

　ガンの仲間は和歌や浮世絵にも出てくるなど、古くから人に親しまれてきました。その年初めて飛来したガンのことを「」といって秋の季語として使われ、お菓子の「」や「をそろえる」などガンにかかわる言葉もあるほど、全国で身近な存在でした。

　全国的に沼や水田が減少したなか、大崎地域では、水田農業が引き継がれ、化女沼や蕪栗沼が残されてきたことで、マガンの「ねぐら」と「」が一緒に守られてきました。

　そのため、大崎耕土は日本でも最大のマガンの飛来地で、全国に飛来する18万羽の

うち10万羽が越冬します。

　「餌場」となる大崎地域の広大な水田に、家族ごとに飛んでいく早朝の飛び立ちや、夕方のねぐら入りの美しい光景は、見る人を魅了し、日本全国や海外からも多くの人が訪れます。

　次世代につなげていきたい大崎地域の大切な宝です。

**パタ崎さんゆるキャラグランプリ2016に参戦中!**

大崎市の魅力を全国に伝えるよ。みんな応援よろしくね！ゆるキャラグランプリの投票方法は、16ページを見てね！

大崎市イメージキャラクター「パタ崎さん」も、シベリア出身のマガンです。みやぎ大崎ふつふつ共和国広報大臣として、大崎の魅力をリュックにつめこみ全国を飛び回ります。

写真１：月とガン

写真２：水田で餌を食べるマガンの家族

**市長コラム　天地人　大相撲大崎場所に３千人が沸く**

８月18日、古川総合体育館を会場に、大崎市誕生10周年記念事業「平成28年夏巡業大相撲大崎場所」を開催しました。日本相撲協会の格別のご理解のもと、実行委員会をはじめ、市内の企業や市民皆様のご協力により、市内外約３千人の相撲ファンが、迫力の取組に大いに沸き、相撲文化を堪能しました。

　大崎地方は、日本三大草相撲の地である鳴子温泉をはじめ、たいへん相撲の盛んな土地柄でありました。わたし自身も子どものころから相撲が大好きで、高校時代は２度、インターハイに出場しましたし、大相撲入りも考えたほどでした。

　５年半前の東日本大震災の折、慰問交流に横綱白鵬関と宮城野部屋一門の皆様の来訪が実現し、県内沿岸地域から避難してきた皆様や市内で被災した皆様を大いに元気づけてくれました。これがご縁となり、横綱白鵬関には「おおさき宝大使」に就任していただき、以来、白鵬関には大崎市はもとより、広く東日本の震災復興にご尽力いただいております。

　そしてこの度、市の震災復興「発展期」への加速を祈念するとともに、大崎市誕生10周年を記念する「大相撲大崎場所」が実現できました。

　相撲は、武道・スポーツであると同時に、神事であり伝統文化でもあります。礼節を重んじ、気は優しく力持ちの力士たちが、15尺（４・55メートル）の円い土俵を広く使い、力と技をぶつけ合います。「小よく大を制す」そのが相撲人気へとつながり、空前の相撲ブームを巻き起こしています。

　大相撲大崎場所で醸した熱気とパワーを、合併10周年を迎えた大崎市のまちづくりに注いでまいりましょう！

大崎市長　伊藤康志